JAXA の佐々木教授が資料 28-2-2(SELENE 準備状況)を説明し、続けて MHI の航空宇宙事業本部　宇宙機器部の中村弘行次長が資料 28-2-1(H-ⅡA#13 の準備状況)を説明した後、多少の質疑応答があった。(修理及び修理後の確認が順調に進み、打上げ予定 9 月 13 日。ウィンドウは 13～21 日)

池上：この写真で上の方のマークは何になるんですか。スリーダイヤが二枚入ってて。

JAXA 佐々木：其れは「かぐや」のマークです。

池上：ああ、「かぐや」。此れ「かぐや」のマーク？　で、H-ⅡA と云うのは入ってる訳ですね。

JAXA 河内山：H-ⅡA と NIPPON と云うのチャンと入っています。其の二つは必ず入ることになっています。

池上：ああそうですか。JAXA と云うのは無いんですか？

JAXA 河内山：JAXA は今回顧客と云うことで、「かぐや」の下のほうに入っています。

森尾：8 月の 23、24 日の統合リハーサルと云うのは通常はされないリハーサルですか。

JAXA 河内山：通常はやって。

森尾：今回、こう云う一ヶ月延期になったから？

JAXA 河内山：それもあるんですが、実は何処かでやりたいと云うことを考えており、其れを明確にしたのが今回の統合リハーサルです。MHI と JAXA で業務をやるときのインタフェイスの確認を、きちっと一度やって見ましょうと云うことで、実際、2 月の前回の打上げのときにやっていたのですが、其れを再度明確にしてやっていると云う形です。

青江：従来からすると、飛行業務と安全管理業務、それぞれあるんで、「其処のところを統合すると云うことが特に重要よ。」と云うことでやると云うことでは無いんですか。

JAXA：そう云うことです。実際に、2 月のときに、シュミレーションとして訓練は一度やったのですが、更に其の確認をやって、9 月の打上げを確実にやろうと云うことでやらせていただきました。

松尾：宜しいですか。はい、どうも有難う御座いました。